
じゃぱんどりーむ

文愚堂 直純

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

じゃぱんどりーむ

【コード】

N0864E

【作者名】

文愚堂 直純

【あらすじ】

私はある日公園で不思議な青年にであった。

都会の真ん中にある公園。とある昼下がりに、ベンチに一人腰をか
けうなだれる青年の姿があった。私は彼の隣に何気なく座り、待ち
合わせでもしているのかと尋ねた。銜えた煙草を右手に持って、大
きく煙を吐くと小さく首を横に振った。

しばしの沈黙が二人の間を支配した。私の目の前には、砂場に戯
れる三人の幼子。それを優しく見守る二人の母の談笑だけが私の耳
に届いては消えていった。子ども達は黙々と砂をかき集め、大きな
建造物をそこに創りあげようとしている。堆い砂の塊を小さなシャ
ベルで無心に叩き固めている。ぺたぺたと湿った土を叩く音が、や
けに私の耳から離れずにいた。

隣に座る青年は、むくりと立ち上がると私の事など全く気にもせ
ず両肩を落としながら公園をさった。ビルの隙間からは西に傾く太
陽の日差し、彼の後ろ姿に不気味な影を映し出していた。

砂場での造営作業は佳境に入ったようである。四角く固められた
砂の上には紙コップで型をした砂の塔が三つ積み上げられ、その先
端には木の枝が刺されている。いよいよ、扉を開くときが来たよう
だ、慎重に小枝や指先を使いながら彼らの城の正面が少しずつ削ら
れていく。反対側からも同じように。そして見事、彼らの城を崩す
ことなく小さなトンネルを貫通させることに成功したのだ。子ども
達は満足げに笑みを浮かべ、母親は惜しみない賞賛の拍手を彼らに
送っている。

私もそのとき、心の中で彼らにささやかな拍手を送った。砂場の
母と子どもその達成感にひたりながら、公園を後にした。子ども達に
は、彼らのつくった砂の城に未練はないようである。愛着すらもな
いのだろう。もう彼らの目には3時のおやつという幸福の時間しか
映ってはいないのだ。公園に立つ時計の針は3時をすこし過ぎたと
ころを指していた。

私も、しばらく公園のベンチで一人物思いに耽ってはみたが、空を見上げるとどうも雲行きが怪しそうであったので、一先ず私の城へと帰ることにした。

城とは言っても、昼間の子ども達が砂場で築き上げたような立派なものではない。二階建てのポロアパートの一室である。しかし、私にとつてここは何にも勝る我が城なのだ。この部屋の中では全てが私の意のままに扱えるのである。誰にも気兼ねすることはない。いわば私が法であり規則なのである。私は、今朝洗濯して干してあった衣類をガラス窓を開けて室内にかき込み、机に積み上げられた読みかけの本の一冊を手にとった。エドワード・サイードの名著「オリエンタリズム」である。

意味も無く哲学書や思想書を買集めては、何度も挫折を繰り返しながらその難解な文章の文字を追う事が私にとつて一種の悦楽でもあった。特に内容を正確に理解しようという気は元からないのである。何か閃きのヒントがその一文に隠されているかもしれない、という宝探しゲームをやっているような感覚に近い。その閃きを求めるために私は、生活の多くの時間を読書に費やしている。

夜が更けるまで、その日はめずらしく一冊の本を時間が過ぎるのも忘れて読んでしまっていた。しかし、ほとんどその内容は頭に入っていない。それでいいのである。

明くる朝、私は眩しく差し込む朝日によって目覚めた。昨日、東の窓のカーテンを閉め忘れたのが原因である。近くのコンビニまで朝食の菓子パンを買いに出た。朝の空気は全く清々しく、昨日の曇り空とは一転して雲一つ無い澄み切った青い空が広がっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0864e/>

じゃぱんどりーむ

2010年10月19日02時40分発行